

第92回薬事審議委員会の報告より

先日の第92回薬事審議委員会が行われた結果について報告いたします。

①仮採用申請医薬品

- ・ポララミン注（高田製薬株式会社）＜抗ヒスタミン薬＞

＜効能又は効果＞

じん麻疹，枯草熱，皮膚疾患に伴うそう痒（湿疹・皮膚炎，皮膚そう痒症，蕁麻疹，咬刺症），アレルギー性鼻炎

＜用法及び用量＞

d-クロルフェニラミンマレイン酸塩として、通常成人1回5mgを1日1回皮下、筋肉内又は静脈内注射する。なお、年齢、症状により適宜増減する（1回1～2アンプル）。

＜薬価＞

59円/管

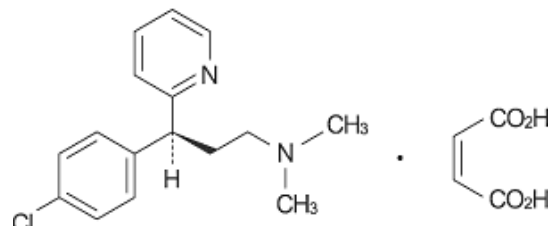


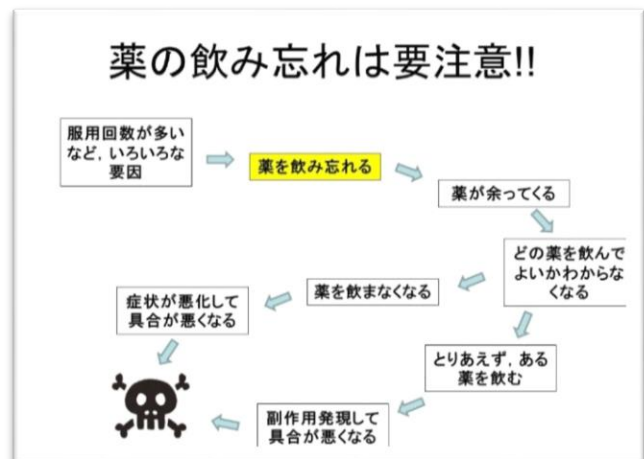
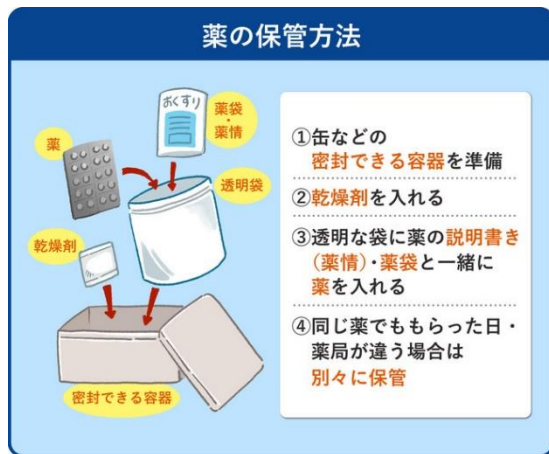
Fig.1d-クロルフェニラミンマレイン酸塩

②採用変更および中止

- ・レボカルニチン錠 FF「フー」2024年3月末で販売終了
⇒ レボカルニチン FF錠 250mg「トーワ」へ切替
- ・コロネル錠，細粒（アステラス製薬㈱）
⇒ 併売品のポリフル錠，細粒へ一元化されることから，在庫照応次第切替
- ・クエチアピン細粒「ヨトミ」
⇒ 吉富薬品が田辺三菱製薬に吸収合併されることにより，「ヨトミ」屋号の薬剤が順次販売中止になる，切替メーカーは思案中
- ・タフマック E 配合顆粒（3/31 経過措置満了）
⇒ つくし AM 配合散，安中散などで対応

意欲喚起プログラムの講話について

先日地域移行機能強化病棟における退院意欲の向上を目的とした意欲喚起プログラムの一環でお薬のお話を講話として行いました。お薬の種類、剤形の特徴や服用の必要性等々を説明いたしました。



今回は上記に加えて、薬の保管および薬の飲み忘れと薬剤管理について解説いたしました。

服用忘れのないことが一番大切です。アドヒアランスが保てれば、あまり忘れることはないようです。

とはいうものの、忘れてしまうことは多々あります。そのような時は気が付いたときに服用することです。ただし、一度に二回分の薬を飲んではいけません。

参加者のアンケート結果から幾つか質問をいただきました。副作用についての質問がいくつかありましたのでこの場を使って回答します。

Q. どんなくすりにも副作用はありますか？

A. あります。一般に副作用とは「一定の使用基準に従って薬剤を使用したにもかかわらず、結果的に現れた患者に不利益な反応」を指しますので、期待した効果が得られず、有害事象を生じる場合があります。

Q. 漢方薬にも副作用や飲み方に気を付けることはありますか？

また、1回に複数の漢方薬を一緒に飲んでも大丈夫なのですか？

A. 漢方薬は様々な治療効果が期待できる有用な薬ですが、飲み過ぎると高血圧や胃腸不良、かゆみや湿疹などの副作用が起こす可能性がある点も見逃せません。

※顆粒剤の漢方薬を服用するときは、水や白湯でしっかりと飲み下すことです、ジャリジャリと口の中に残るようではいけません。

救数の漢方薬を服用されることもあります。ただし成分の重複は副作用を招く恐れがありますので組合せには注意が必要です。

私の拙い話しにも耳を傾けていただいた患者さんたちに感謝いたします。お薬について少しでも理解を深めていただきたいと思います。安心安全な薬物治療のお手伝いを今後も続けていこうと感じました。

★編集後記

新年度に向けて健康管理をしっかりして、がんばりましょう



薬剤科. 野村